

## 令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 其他一般    マスタープラン： 3つの挑戦    施策番号 1-7 . 3-4 .

局・課名： 教育委員会事務局 保健給食課

<b>事業名</b>	<b>小学校給食調理場等整備事業</b>	<b>事業費(千円)</b>	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額
			431,996	118,944	635,930
<b>事業概要</b>	<b>【目的】</b>  建築面・設備面から学校給食の衛生管理を維持・向上させ、安全・安心な学校給食を児童に提供する。	<b>債務負担行為</b>	期間		要求額(千円)
			R2～R3		241,000
	<b>主な要求内容</b> (単位:千円)				
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
	学校給食調理場改築等工事	55,328	504,258	改築工事及びその設計業務等	
	学校給食調理場大規模改修等工事	57,500	90,772	大規模改修工事およびその設計業務等	
	既設調理場改修工事	3,800	39,000	空調整備及びトイレ改修工事等	
	印刷製本費、消耗品費等	2,316	1,900	上記に伴う事務経費等	
	合計	118,944	635,930		
	<b>【内容】</b> 現在使用している学校給食調理場95箇所(小学校92箇所、特別支援学校・分校3箇所)の内訳は、建築基準法上の旧耐震基準に該当するもの(昭和40年代～昭和56年)が約3分の1、新耐震基準に該当するが築20年以上経過しているもの(昭和57年～平成9年)が約3分の1、築20年未満のものが約3分の1となっており、建築面・設備面ともに全体として老朽化が進んでいる。また、平成21年に示された学校給食法第9条第1項に基づく学校給食衛生管理基準では、学校給食調理場では衛生・機能面で優れた「ドライシステム」の導入を努力義務としているが、34校で導入されているにとどまっている(残りの学校給食調理場は、ウェットシステムのドライ運用で対応している。) 以上のことから、学校給食調理場の建築面、設備面の老朽化に対応した改築工事や大規模改造工事に加え衛生設備や空調設備の整備などを実施する。	<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>			
【経過(～元年度)】		【2年度】	【今後予定(3年度～)】		
		給食調理場等改築等工事	給食調理場等改築等工事		
<b>【今年度要求のポイント】</b>  ・学校給食調理場の建築面、設備面の老朽化に対応して、改築工事等を実施する。	<b>その他 特記事項</b>				
	関連事業: 特別支援学校給食調理場等整備事業				